

10/9.30  
11/3.6.13

## 小学生かけっこ教室開催

小学生かけっこ教室を西部総合公園多目的グラウンドにて、全5回にわたり開催しました。教室には、市内小学生50名が参加し、各校で行われる持久走大会前に、走り方や長距離を走るポイントを学び、持久力の向上を目指しました。

天気にも恵まれ秋晴の中、講師である茨城陸上協会強化コーチの住谷利勝先生を中心に、鬼ごっこなど遊びを取り入れたプログラムで楽しくのびのびと走る子供たちの様子が見られました。



▲楽しく参加した子供たち

10/17

## 一斉クリーン作戦実施

市内の道路の一斉クリーン作戦を実施しました。ごみのない清潔で住みよいまちづくりをめざして、各地区の環境保全推進委員長（副区長）を中心に地域住民の方々約8,400人が国道・県道・市道等の空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを回収しました。

可燃ごみ3,620kg、不燃ごみ及び粗大ごみ970kgが回収されました。



▲ご協力ありがとうございました

10/18

## 高部宿の整備に向けた講演会開催

なまこ壁の土蔵や、酒蔵、3階建ての楼閣、そして洋館。山中に忽然と現れる独特の町並み「高部宿」は、インターネットを覗くと、通りかかったサイクリストたちにも気になる存在となっていることがわかります。

この特徴ある町並みを有効に活用することで、地域の活性化と町並みの保存ができないものか、他地域の事例を聞いて参考にしようと、10月18日（月）美和工芸ふれあいセンターで、「『高部宿から始める美和の未来』を考える最初のヒントになるかもしれない講演会」を開催しました。

会場には高部宿にお住まいの方々や美和地域の区長さん、地域の活性化活動に取り組んでいる「森と地域の調和を考える会」のメンバーをはじめ、古民家の保存活用に興味ある方など40名余りが集まりました。

株式会社NOTEノオトの星野新治さんより、12戸のうち7戸が空き家となっていた集落が、空き家3軒をホテル

に改修して集落で運営し、それをきっかけに人流が生まれ、耕作放棄地がなくなった事例など、地域それぞれの歴史・文化を生かして生業なりわいをつくっているお話を伺い、参加者は、「高部宿から始める美和の未来」を思い思いにイメージしているようでした。



▲講演会の様子

10/19・11/12

### 教育委員会で事業等を点検・評価

市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行っています。

評価委員として、栗田将夫氏(元茨城県教職員)、安藤みゆき氏(茨城女子短期大学教授)及び松橋義樹氏(常磐大学助教)の3人に委嘱し、令和2年度の活動状況及び事務事業のうち6事業について、点検・評価を実施しました。

その結果、教育委員会会議の開催状況、協議、報告等は適正に執行されているとの意見が出されました。

また、点検評価を行った6事業については、「拡充」1事業、「現行どおり」3事業、「見直し」1事業、「廃止・休止」1事業と評価されました。

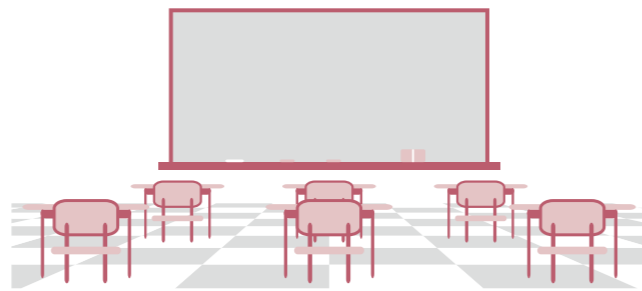
「拡充」と評価された「教育支援センター適応指導教室・教育相談事業」では、「相談件数の増加、相談内容が複雑化していることから、悩みを持つ児童・生徒、保護者への支援は大切であり、また解決にあたっては

学校との連携も重要である。高度な事例については、専門機関と積極的に連携を行うなどして早期解決に努めていただきたい。」との意見などが出されました。

今後も、市教育委員会では、毎年、教育行政点検評価を実施し、教育委員会活動の透明性を高め、市民の方から信頼される教育行政を推進していきます。

※その他の意見等については、市ホームページをご覧ください。

市ホームページはこちら▶



10/26

### 常陸大宮市赤十字奉仕団研修会を開催

御前山支所前(御前山市民センター)にて常陸大宮市赤十字奉仕団研修会を開催しました。

赤十字奉仕団とは、赤十字の博愛人道の精神に基づき様々な奉仕活動を行う団体です。

常陸大宮市赤十字奉仕団は市長を地区長、各地域の区長会長を分団長として配置し、区・班に加入している方々を班員としています。また、常陸大宮市赤十字奉仕団の役員として、区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア連絡協議会、社会福祉協議会から委員が選出されています。

今回の研修会では、設営班と炊き出し班とに分かれてダンボールベッドや簡易テントの組み立ての体験、各家庭にあるカセットコンロを用いて50人分の炊き出し訓練を行いました。

皆さんも災害等により停電や断水したことを想定して、備蓄用品の確認やご家庭にあるものを活用した訓練をしてみたいはいかがでしょうか。



◀簡易テントの組み立て



▶炊き出し訓練

11/7

### 御前山トレイルラン大会開催

常陸大宮市と城里町で構成される御前山・那珂川広域連携協議会において、常陸大宮市と城里町にまたがる「御前山」を舞台に、「関東嵐山第6回トレイルラン大会」が開催されました。

3年ぶりの開催となりましたが、400名ほどの参加者が、自慢の健脚を競い合いました。



▲険しい道のりを走る参加者の皆さん

11/16

### 第二中学校 建設体験学習

第二中学校2年生の生徒約60名が、県建設業協会未来協議会指導協力のもと、建設体験学習を実施しました。

高所作業車で体育館外壁の清掃作業、ローラー車に試乗してのグラウンド整地作業、測量体験、ドローン操作などを体験しました。

建設業の仕事について理解を深めるとともに仕事の大変さも学び、有意義な体験学習となりました。



▲体育館外壁清掃作業の様子

11/12

### 「常陸大宮駅東西自由道路・新駅舎整備に伴う実施設計協定」締結

常陸大宮駅周辺整備事業に伴う水郡線常陸大宮駅東西自由通路・新駅舎整備事業に係る実施設計協定及び年度協定を、東日本旅客鉄道株式会社と締結しました。

この協定は、東西自由通路・新駅舎の整備を円滑に進めるために締結するもので、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社において、小川水戸支社長と鈴木市長が協定書を交わしました。



▲(左)小川水戸支社長

### 地域の方からまちのできごと

11/21

### 防災訓練実施



那賀区で大地震を想定した避難訓練が実施されました。

11/27

### 多世代交流会開催



千田区で子供から高齢者までが集まり、交流会が開催されました。

11/24

## ホストタウン功労賞受賞

パラオ共和国のホストタウンである本市の東京2020大会公式ボランティア「パラオブルーサポーター」が、ホストタウン交流の推進に関して、顕著な活動を行ったことが評価され、国からホストタウン功労賞(感謝状)が贈られました。

11月24日に、常陸大宮市役所にて、鈴木市長から感謝状の伝達が行われました。サポーターの金谷千夏さんは、「サポーター活動はとても貴重な経験となりました。今後に生かしていきたい。」と話しました。

常陸大宮市は、東京2020大会終了後も、パラオ共和国との国際交流を継続的に推進していきます。



▲パラオブルーサポーターの皆さん

11/26

## コミュニティ助成事業

山方第二区自主防災組織では、令和元年東日本台風による被災経験を踏まえ、災害時における活動に資するため、今年度のコミュニティ助成事業を活用し、防災資機材の整備を行いました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として助成しているものです。

今後、整備した資機材を有効に活用することにより、災害時の迅速な対応はもとより、更なる共助精神の醸成と地域コミュニティの発展が期待されます。



▲今回整備された防災資機材

11/28

## わが町の消防団 ポスターコンクール表彰式

小学3年生、4年生を対象にした、わが町の消防団ポスターコンクール表彰式が、道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜で開催され、応募総数81点から最優秀賞(1名)、優秀賞(10名)が表彰されました。最優秀賞の山方小学校4年大津結菜さんの作品は消防団員募集ポスターとして市内事業所に配布予定です。



▲受賞された皆さん

11/28

## ワールドカフェ 「こんな街に住みたいな」開催

常陸大宮市内の海外出身者と地域の方々、市内の中高生そして、茨城大学の学生などが参加し、国際交流ボランティアばらの会主催のもと、ワールドカフェ「こんな街に住みたいな」が開催されました。

海外出身者によるミニスピーチコンテストやワークショップが行なわれ、住みやすい街づくりへさまざまな意見を出し合いながら、異文化交流と相互理解を深める有意義な時間となりました。



◀スピーチ

ワークショップ▶